

第2回大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会

議事要旨

日時：平成29年12月20日(水) 10:00～12:00

場所：静岡県男女共同参画センター あざれあ

【議事】

1. 総合土砂管理計画策定までの流れ
2. 大井川流砂系の現状と課題
3. 流砂系の目指す姿
4. 土砂動態モデルの構築
5. 今後の予定

【議事要旨】

1. 総合土砂管理計画策定までの流れ

事務局説明 事務局より、総合土砂管理計画策定までの全体の流れ(案)について説明

主な意見等 ● 特になし

2. 大井川流砂系の現状と課題

事務局説明 事務局より、大井川流砂系の領域区分、各領域における現状と課題について説明

主な意見等 ■領域区分

- 「ダム領域と山地河道領域について、大井川ダム・長島ダムを境にして、上下流で土砂生産・流出に伴う問題事象が異なるため、現段階では、流砂系の課題が大きく区分される分節点として大井川ダムで区切ることで良いが、ダム領域の中でも河道部分に関する問題については丁寧に記載してほしい」旨の意見。
- 「ダム領域の中に貯水池部分と河道部分がまとめられているが、河道の着色は河道のみを領域として示しているように誤解を招く恐れがあるため着色を削除されたい」旨の意見。
- 「大井川港は航路浚渫が必要など流砂系の中で存在を明確に意識すべき対象であるため、大井川港を河口部か、海岸領域かどちらかの領域区分に含めて整理した方がよい」旨の意見。

■土砂生産・流送領域

- 「崩壊地の整理は、地質条件と重ね合わせた整理をした方がよい」旨の意見。
- 「土砂生産・流送領域の粒度分布は、河道内の調査であり、生産土砂の粒径ではないことが分かるよう明記した方がよい」旨の意見。

■ダム領域

- 「ダム貯水池の掘削土の処理として、土捨場での処理、ダム下流への土砂還元、有効活用など、それぞれの現実性を早い段階から考えていくことが重要である」旨の意見。

■山地河道領域

- 「流下能力の不足箇所において、被害の対象（人家、道路）なども分かるよう整理した方がよい」旨の意見。

■扇状地河道領域

- 「樹林化している砂州上に、どのような粒径集団の土砂が堆積しているか調査した方がよい」旨の意見。
- 「樹林化による課題は、流下能力不足のみ触れられているが、固定化・局所洗堀の助長なども課題として挙げた方がよい」旨の意見。
- 「河口の変遷の整理では、洪水のみでなく、高波浪の発生状況も加えた方がよい」旨の意見。
- 「河川的环境では、大井川特有の伏流環境を加えた方がよい」旨の意見。

■海岸領域

- 「海岸の環境として、海辺の国勢調査の結果も整理した方がよい」旨の意見。

■流砂系の現状と課題

- 「領域別にみせると、縦割りのように見えるため、領域間の境界に連携することを書き込むなど表現を工夫した方がよい」旨の意見。

3. 流砂系の目指す姿

事務局説明 事務局より、流砂系の目指す姿(案)について説明

- 主な意見等**
- 「人為的な土砂輸送には、高齢化社会が進む中長い持続性が見込まれないことや、労力やコストも要することを踏まえておくことが重要である」旨の意見。
 - 「環境の方針は、“配慮する”という表現では、環境は付屬的に考えている様に見えるため再考した方がよい」旨の意見。
 - 「“大井川では”という表現は、海岸領域が抜けている印象となるため、“大井川水系および駿河湾”や“大井川流砂系”に修正した方がよい」旨の意見。
 - 「海岸でも河口テラスの挙動などは分かっていないため、データ不足の事象の一つである」旨の意見。

4. 土砂動態モデルの構築

事務局説明 事務局より、土砂動態モデルの概要(案)と流砂系を構成する粒径集団 (案)について説明

主な意見等 ■土砂動態モデルの概要

- 「再現計算の際に直面した課題やその対応手法など、再現する過程で行った工夫点を記録として残してほしい」旨の意見。
- 「再現計算のチューニングにおいて、予測したい現象が見られる時期の変化を再現できる様にし、全てが合わない場合は合わない箇所を分かるようにしてほしい」旨の意見。
- 「長期の変動のみでなく、洪水の前後の変動もチューニングの対象となる」旨の意見。
- 「全域を一連で計算するのが難しい場合には、上下流でモデルを分けることも考えられる」旨の意見。
- 「流量の境界条件についてはダム放流量データや、流砂の境界条件についてはダム堆砂実績が活用できる」旨の意見。

■流砂系を構成する粒径集団の設定

- 「粒径の一般的呼称については、河川で推奨している呼称と地盤工学会の呼称が異なるため、両方を整理した方がよい」旨の意見。
- 「港湾内の堆積粒径については、航路と泊地で分けて整理した方がよい」旨の意見。
- 「海岸の環境上の粒径として、角ばっていることと粒径とは関係がないため、記載方法を変えた方がよい」旨の意見。
- 「ウミガメの産卵場の目安は、論文が15年前のものであり、サンプルに駿河海岸が入っていないため、駿河海岸での調査・検討がないか確認した方がよい」旨の意見。
- 「150mm以下を計算対象とするにあたり、150mm以上は少ないことを示した方がよい」旨の意見。
- 「各領域の問題事象を引き起こす粒径の整理については、多いため起こるのか、少ないため起こるのかが分かるよう表現してほしい」旨の意見。
- 「領域や場所毎に、どの粒径区分に過不足があるのか分かると連携のマッチングにつながるため、整理を丁寧にした方がよい」旨の意見。
-

5. 今後の予定

事務局説明 事務局より、今後の予定について説明

主な意見等 ● 特になし

以 上